



Cisco Host Upgrade Utility 1.5(1) ユーザ ガイド

初版：2013年03月04日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

はじめに v

対象読者 v

表記法 v

Cisco UCS の関連ドキュメント vii

Cisco Host Upgrade Utility の概要 1

Cisco Host Upgrade Utility について 1

ライセンス契約書 3

HUU ユーザ インターフェイスについて 4

要件およびサポート 7

要件 7

サポート 8

Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新 9

HUU を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新 9

トラブルシューティング 13

トラブルシューティング 13



はじめに

- [対象読者](#), [v ページ](#)
- [表記法](#), [v ページ](#)
- [Cisco UCS の関連ドキュメント](#), [vii ページ](#)

対象読者

このガイドは、次の 1 つ以上に責任を持つ、専門知識を備えたデータセンター管理者を主な対象にしています。

- サーバ管理
- ストレージ管理
- ネットワーク管理
- ネットワーク セキュリティ

表記法

テキストの種類	説明
GUI 要素	タブのタイトル、領域名、フィールドラベルなどの GUI 要素は、[] で囲んで表記しています。 ウィンドウ、ダイアログボックス、ウィザードのタイトルなどのメインタイトルも、[] で囲んで表記しています。
マニュアルのタイトル	マニュアルのタイトルは、このフォント（例： <i>this font</i> ）で示しています。

テキストの種類	説明
TUI 要素	テキストベースのユーザ インターフェイスでシステムが表示するテキストは、このフォント（例： <code>this font</code> ）で示しています。
システム出力	システムが表示するターミナルセッションおよび情報は、このフォント（例： <code>this font</code> ）で示しています。
CLI コマンド	CLI コマンドのキーワードは、このフォント（例： this font ）で示しています。 CLI コマンドの変数は、このフォント（例： <i>this font</i> ）で示しています。
[]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{x y z}	どれか1つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x y z]	どれか1つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
string	引用符を付けない一組の文字。 <code>string</code> の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて <code>string</code> とみなされます。
<>	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



ヒント 「問題解決に役立つ情報」です。ヒントには、トラブルシューティングや操作方法ではなく、ワンポイントアドバイスと同様に知っておくと役立つ情報が記述される場合もあります。



注意 「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

**ワンポイントアドバイス**

「時間の節約に役立つ操作」です。ここに紹介している方法で作業を行うと、時間を短縮できます。

**警告****安全上の重要事項**

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。警告の各国語版については、各警告文の末尾に提示されている番号をもとに、この機器に付属している各国語で記述された安全上の警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

Cisco UCS の関連ドキュメント

ドキュメントロードマップ

すべての B シリーズ ドキュメントの完全なリストについては、『*Cisco UCS B-Series Servers Documentation Roadmap*』（<http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/b-series-doc>）を参照してください。

すべての C シリーズ ドキュメントの完全なリストについては、『*Cisco UCS C-Series Servers Documentation Roadmap*』（<http://www.cisco.com/go/unifiedcomputing/c-series-doc>）を参照してください。

他のドキュメント リソース

すべての B および C シリーズ ドキュメントが収録されている ISO ファイルは、<http://www.cisco.com/cisco/software/type.html?mdfid=283853163&flowid=25821> で入手できます。このページで、[Unified Computing System (UCS) Documentation Roadmap Bundle] をクリックしてください。

ISO ファイルはドキュメントのメジャー リリースごとに更新されます。

ドキュメント更新の通知を受け取るには、[Twitter 上の Cisco UCS Docs](#) をフォローしてください。



第 1 章

Cisco Host Upgrade Utility の概要

この章は、次の内容で構成されています。

- [Cisco Host Upgrade Utility について](#), 1 ページ
- [ライセンス契約書](#), 3 ページ
- [HUU ユーザ インターフェイスについて](#), 4 ページ

Cisco Host Upgrade Utility について

Cisco Host Upgrade Utility (これ以降は「HUU」と呼ばれます) は、1つまたは複数の Cisco UCS C シリーズ サーバ上でファームウェアをアップグレードするツールです。HUU には、Windows オペレーティングシステム上の選択されたプラットフォーム用のコンテナをダウンロードできるオプションがあります。ISO を書き込み可能な物理メディアに書き込み、その物理メディアを挿入すると、ブラウザで自動的に `index.html` が起動し、HUU ISO からコンテナをダウンロードできるようになります。`index.html` は、コンテナをダウンロードする場所にアクセスします。また、標準的な ISO 抽出ユーティリティを使用して ISO からコンテナをダウンロードすることもできます。HUU のユーザ インターフェイスでは、アップグレードするファームウェア コンポーネントを選択できます。以前のリリース (1.4(x)) の場合、HUU では、アップグレードするコンポーネントを選択し、アップグレードを開始する際にテキストメニューが表示されましたが、このリリース (1.5(x)) 以降では、この作業を実行するためのグラフィカルユーザ インターフェイスが表示されます。

HUU を使用して、次のコンポーネント上のファームウェアをアップグレードできます。

- Cisco Integrated Management Controller (CIMC)
- システム BIOS
- LAN On Motherboard (LOM)
- RAID コントローラ
- Cisco UCS P81E 仮想インターフェイス カード (VIC)

- Cisco UCS VIC 1225
- Cisco UCS VIC 1225-T
- Broadcom PCI アダプタ
 - 5709 デュアルおよびクアッドポート アダプタ
 - 57712 デュアルポート アダプタ
 - 57712 10GBASE-T アダプタ
 - 57810 デュアルポート アダプタ
- Intel PCI アダプタ
 - 82576 クアッドポート アダプタ
 - i350 クアッドポート アダプタ
 - X520 アダプタ
 - X540 アダプタ
- QLogic PCI アダプタ
 - 2462 デュアルポート アダプタ
 - 2562 デュアルポート アダプタ
 - 8152 デュアルポート 10 Gbps アダプタ
 - 8242 デュアルポート 10 Gbps アダプタ
- Emulex PCI アダプタ
 - LightPulse LPe11002 アダプタ
 - LightPulse LPe12002 アダプタ
 - OneConnect® OCe11102 デュアルポート アダプタ
 - OneConnect® OCe10102 アダプタ
- LSI
 - LSI SAS2008
 - LSI MegaRAID SAS 9220-4i
 - LSI MegaRAID SAS 9220-8i
 - LSI MegaRAID SAS 9240-8i
 - LSI MegaRAID SAS 9260-8i
 - LSI MegaRAID SAS 9261-8i
 - LSI MegaRAID SAS 9266-8i

- LSI MegaRAID SAS 9266CV-8i
- LSI MegaRAID External SAS 9285-8e
- LSI MegaRAID SAS 9285CV-8e
- LSI MegaRAID SAS 9286CV-8e
- LSI MegaRAID SAS 9271CV-8i



(注) これは、さまざまなサーバによってサポートされているすべてのコンポーネントの完全なリストです。特定のサーバのファームウェアをアップグレードする場合、HUU では、そのサーバでサポートされているコンポーネントだけが検出され、表示されます。

さまざまなサーバによってサポートされているコンポーネントの詳細については、次の URL で入手できる『*Release Notes for Cisco UCS C-Series Software, Release 1.5(x)*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10739/prod_release_notes_list.html

非インタラクティブ HUU を使用する C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレードについては、次の URL で入手できる『*Cisco UCS Rack-Mount Servers CIMC XML API Programmer's Guide*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/docs/unified_computing/ucs/c/sw/api/b_cimc_api_book.html

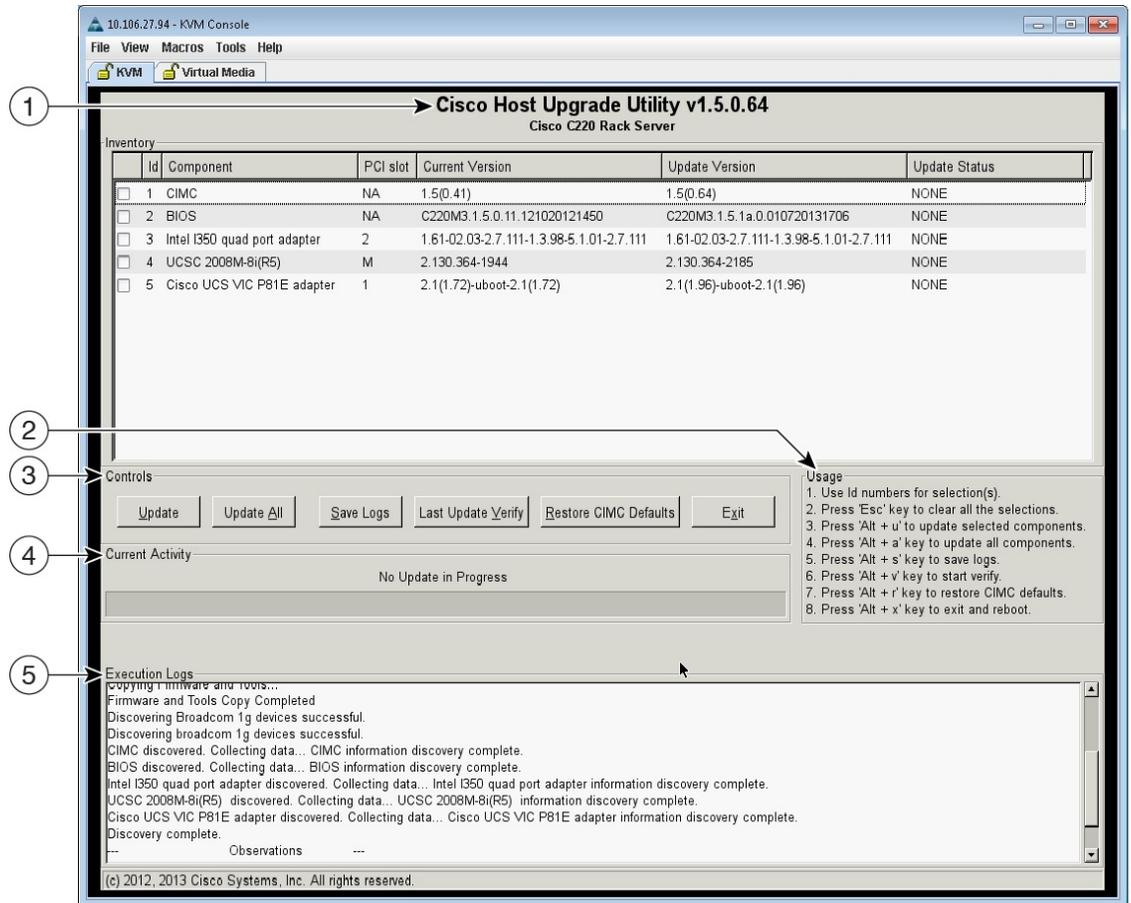
ライセンス契約書

HUU のブート後に最初に表示されるインターフェイスは、エンドユーザライセンス契約書です。
[I Agree] を選択してこのライセンスに同意します。

HUU ユーザ インターフェイスについて

ここでは、HUU ユーザ インターフェイスのさまざまなセクションの UI 要素について簡単に説明します。

図 1: HUU ユーザ インターフェイス



UI 要素	説明
1. [Inventory] セクション	
Id	コンポーネントの行番号が表示されます。
Component	サーバのコンポーネントのリストが表示されます。
PCI Slot	PCI アダプタ コンポーネントの PCI スロット情報が表示されます。

UI 要素	説明
Current Version	リストされたコンポーネントごとに、そのファームウェアの現在のバージョンが表示されます。
Update Version	アップグレードに利用可能なファームウェアのバージョンが表示されます。
Update Status	更新の進行中に、リストの各要素の更新のステータスが表示されます。
2. [Usage] セクション	このセクションでは、特定の作業に使用できる利用可能なキーボードショートカットのリストが表示されます。
3. [Controls] セクション	
Update	このボタンを使用すると、選択したコンポーネントのファームウェアの更新が開始されます。
Update All	このボタンを使用すると、サーバのすべてのコンポーネントのファームウェアの更新が開始されます。
Save Logs	このボタンを使用すると、更新の詳細なステータスを含むログファイルが、サーバに物理的またはKVM vMedia経由で接続されている外部 USB デバイスに保存されます。更新中にエラーが発生すると、ログを保存するよう求められます。[Save Logs] 機能は、トラブルシューティングに役立ちます。
Verify Last Update	このボタンを使用すると、各コンポーネントで、以前 HUU を使用して更新されたファームウェアのバージョンと、コンポーネントのファームウェアの現在のバージョンが比較されます。
Restore CIMC Defaults	このボタンを使用すると、CIMC の設定が出荷時の初期状態に復元されます。
4. [Current Activity] セクション	このセクションでは、更新のステータスが表示されます。
5. [Execution Logs] セクション	このセクションでは、更新の進行中に、さまざまなアクティビティやステータスの詳細なログが表示されます。



第 2 章

要件およびサポート

この章は、次の内容で構成されています。

- [要件, 7 ページ](#)
- [サポート, 8 ページ](#)

要件



重要

各サーバプラットフォームに対して個別の ISO コンテナがリリースされます。サーバに適切な ISO コンテナをダウンロードする必要があります。

サーバ	コンテナ	CIMC および BIOS バージョンの最小要件
C22	1.5.1b	CIMC バージョン : 1.5(1b) BIOS バージョン : 1.5.1c.0
C24	1.5.1b	CIMC バージョン : 1.5(1b) BIOS バージョン : 1.5.1c.0
C220	1.5.1b	CIMC バージョン : 1.5(1b) BIOS バージョン : 1.5.1c.0
C240	1.5.1b	CIMC バージョン : 1.5(1b) BIOS バージョン : 1.5.1c.0
C260	1.5.1b	CIMC バージョン : 1.5(1b) BIOS バージョン : 1.5.1.0

サーバ	コンテナ	CIMC および BIOS バージョンの最小要件
C420	1.5.1b	CIMC バージョン : 1.5(1b) BIOS バージョン : 1.5.1b.0
C460	1.5.1b	CIMC バージョン : 1.5(1b) BIOS バージョン : 1.5.1.0

サポート

Cisco Host Upgrade Utility は、Cisco UCS C シリーズ サーバ上の LOM および LSI コントローラ デバイスのファームウェアをチェックし、更新します。サポートされたサーバでサポートされる LOM および LSI コントローラ デバイスの完全なリストについては、次の URL で入手できる『*Release Notes for Cisco UCS C-Series Software, Release 1.5(x)*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10739/prod_release_notes_list.html



第 3 章

Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新

この章では、次の事項について説明します。

- [HUU を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新, 9 ページ](#)

HUU を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバのファームウェアの更新

HUU ISO を使用して、書き込み可能なディスク（DVD または CD）によりホストからローカルでサーバのコンポーネントをアップグレードしたり、HUU ISO を仮想デバイスとしてマウントすることによりリモートでサーバのコンポーネントをアップグレードしたりできます。この手順では、HUU を使用してファームウェアをアップグレードする方法について説明します。

ステップ 1 HUU ISO ファイルをダウンロードします。

- <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> にアクセスします。
- 中央のカラムで、[Servers – Unified Computing] をクリックします。
- 右側のカラムで、[Cisco UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software] をクリックします。
- 右側のカラムでサーバのモデル名を選択します。
- [Unified Computing System (UCS) Server Firmware] をクリックします。
- リリース番号を選択します。
- [Download Now] をクリックして `ucs-server platform-huu-version_number.iso` ファイルをダウンロードします。
- 次のページで情報を確認後、[Proceed With Download] をクリックします。

i) 次の画面に進んでライセンス契約に同意し、このファイルを保存する場所を参照します。

ステップ 2 ローカルアップグレード用に ISO を準備する場合は、このステップを完了するか、ステップ 3 に進みます。

- a) ISO イメージを書き込み可能なディスク (DVD、USB フラッシュ ドライブ、または CD) に書き込みます。
- b) VGA モニタと USB キーボードを Cisco C シリーズ サーバに接続します。
- c) ディスクを Cisco C シリーズ サーバの DVD ドライブに挿入します。
- d) ステップ 4 に進みます。

ステップ 3 KVM コンソールを使用してリモートアップグレードのために ISO を準備します。

- a) ブラウザを使用して、アップグレードするサーバ上の CIMC GUI ソフトウェアに接続します。
- b) ブラウザのアドレスフィールドにサーバの CIMC IP アドレスを入力し、次にユーザ名とパスワードを入力します。
- c) ツールバー上の [Launch KVM Console] をクリックして、KVM コンソールを起動します。
- d) KVM コンソールで、[Virtual Media] をクリックします。
- e) [Add Image] をクリックし、`ucs-server-name-huu-version_number.iso` file をクリックします。
- f) [Client View] 領域の [Mapped] カラムで、追加する ISO ファイルのチェックボックスをオンにし、マッピングが完了するまで待機します。
- g) ISO ファイルがマップ済みリモート デバイスとして現れたら、ステップ 4 に進みます。

ステップ 4 サーバを起動し、[Boot Menu] 画面を開くよう求められたら、F6 を押します。

ステップ 5 [Boot Menu] 画面で、準備された ISO を選択します。

- ローカルアップグレードの場合は、物理 CD/DVD デバイスを選択し、Enter を押します。
- リモートアップグレードの場合は、[Cisco vKVM-Mapped vDVD1.22] を選択し、Enter を押します。

選択したデバイスからサーバがブートします。

ステップ 6 HUU をブートすると、Cisco End User License Agreement (EULA) が表示されるので、EULA を読み、

- [I Agree] をクリックしてライセンス契約書に同意し、更新を進めます。
- キャンセルする場合は [I Disagree] をクリックします。

EULA に同意すると、[Cisco Host Upgrade Utility] ウィンドウが表示され、更新が利用可能なすべてのコンポーネントのリストが表示されます。

ステップ 7 リストされたすべてのコンポーネントを更新する場合は、[Update all] をクリックします。

ステップ 8 リストの特定のコンポーネントを更新する場合は、更新するコンポーネントを選択します。

ステップ 9 [Update] をクリックします。

- (注)
- CIMC ファームウェアを更新するときは、常に BIOS を更新することを推奨します。また、BIOS ファームウェアを更新するときは、常に CIMC を更新することを推奨します。
 - CIMC ファームウェアを更新する場合は、更新が正常に終了した後に、サーバをリブートして新しいファームウェアをアクティブ化します。

これにより更新が開始され、更新のステータスが、[Update Status] カラムに表示されます。また、ファームウェアの更新中は、[Execution Logs] セクションに、関連する一連のアクティビティとステータスの詳細なログが表示されます。

ステップ 10 サーバをリブートします。

ステップ 11 サーバをリブートし、[Verify Last Update] をクリックして、更新が正常に完了したかどうかを確認します。このアクションは、各コンポーネントで、以前 HUU を使用して更新されたファームウェアのバージョンと、コンポーネントのファームウェアの現在のバージョンを比較し、更新のステータスを表示します。

ステップ 12 更新ステータスのログ ファイルを後で使用できるように保存する場合は、[Save Logs] をクリックします。更新の詳細なステータスを含むログ ファイルは、サーバに物理的または KVM vMedia 経由で接続されている外部 USB デバイスに保存されます。

(注) ファームウェアの更新中にエラーが発生すると、エラー ログを保存するよう求められます。接続された外部 USB にログを保存する場合は、[Save Logs] をクリックします。このログは、エラーの原因の特定とトラブルシューティングに使用できます。

ステップ 13 HUU を終了する場合は、[Exit] をクリックします。

(注)

- CIMC を更新し、BIOS を更新していない場合は、[Exit] をクリックすると CIMC がアクティブになり、CIMC と KVM への接続が切断されます。
- 更新用に LOM を選択しており、Shared LOM モードである場合は、[Exit] をクリックすると CIMC と KVM への接続が切断されます。



第 4 章

トラブルシューティング

この章は、次の内容で構成されています。

- [トラブルシューティング](#), 13 ページ

トラブルシューティング

次の表に、発生する可能性がある問題をトラブルシューティングする際の推奨事項を示します。

問題	推奨されるソリューション
更新して再起動した後に CIMC への接続は失われ、KVM セッションが終了します。	これは、ファームウェア更新後の期待される動作です。CIMC に再びログインし、KVM セッションを再び確立します。
次のエラー メッセージが表示されます。 <code>EID, Board Part Number, Product Part Number <PID, Board Part Number, Product Part Number> is not supported by this HUU image. HUU will not boot on this machine. Press any key to reboot the server.</code>	このエラーメッセージは、HUU ISO がサーバでサポートされていない場合に表示されます。サーバでサポートされた HUU ISO を使用します。

